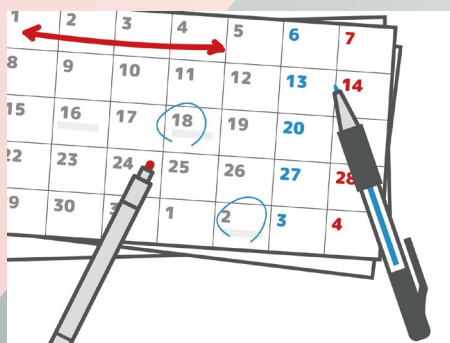


書店のための出版情報紙

Vol.22

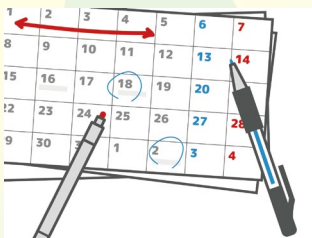
BookLink

手帳・カレンダー 2026

page
2高橋書店・あなたに「JUST FIT!」する手帳が見つかる
イカロス出版・イカロスカレンダー2026page
3「カレンダーを出す」という特別感を取り戻したい
ハゴロモに聞くカレンダー市場の最新動向page
3

プレゼント企画「本を買って当てよう!」開催中

page
4書店の情報をより効率的に「BookLink PRO」
“本好きなあなたへ” オンラインコミュニティ「ほんのもり」



書店店頭を彩る手帳・カレンダー 年末商戦の盛り上げにも一役

書店における日記・手帳、カレンダーは、単なる文房具ではなく、季節集客や売上拡大の重要なけん引役となっている。書店入口やレジ前での大規模フェアは、季節感を演出し、「今年もそろそろ買わないと」という心理を刺激する。

10月～12月にかけて翌年版が発売される日記・手帳は、新たな年を迎える準備の流れに乗って、毎年購入する固定ファンも多いと言われる。来店動機を生む季節商材として、客単価アップに貢献する商材として、文具・雑貨との連携による売場演出にも工夫を加

えるなど、年々取り扱いを拡大する書店も見られる。

カレンダーも昔から書店で手に取る人は多い。最近は種類も豊富で、ネットや量販店では手に入りにくいタレント・キャラクター・アート系も揃うため、ギフト需要も含めて集客効果が大きいと思われる。

これから年末にかけて、今年はどうなラインナップが書店店頭をにぎわすだろうか。早くも楽しみだ。



高橋書店

2026年版1月始まり手帳は、新刊12点を含む305点のラインナップ あなたに「JUST FIT!」する手帳が見つかる

2026年版の高橋書店は、人気シリーズの拡充に加え、新しい記入形式もご用意し、より多くのお客様に「JUST FIT!」することを目指します。

【新商品をご紹介します】

- ・torinco5: torincoシリーズ最小サイズ(B7サイズ)のマンスリー手帳
 - ・カジュアル ウィークリー: カバーのステッチやカラーにもこだわったワンランク上のビジネス手帳
 - ・ラフィーネ カルネ: 花柄が人気のラフィーネシリーズ待望のB6サイズ
 - ・3年DIARY/5年DIARY: B6サイズ・カジュアルなカバーデザイン
- の連用ダイアリー
など、全12点が新登場。

また、「予定も書きたい、ノートのようにも使いたい!」という方のための新しい記入形式「週間バーティカルノート式」がフェルトとデスクダイアリー カジュアルのシリーズに仲間入りしました。

2026年版もご販売のほど、よろしくお願いいたします。



など、
新作12点!



イカロス出版

イカロスカレンダー2026

『エアライン』

月刊エアラインがお届けする
旅客機カレンダー



日本で唯一の民間航空専門誌「月刊エアライン」がお届けする2026年カレンダー。国内各地の空港で撮影された珠玉の旅客機写真たちが1年を彩ります。2023年版以来、本カレンダーを手がけるのは写真家・佐々木豊。現代技術の高度な集合体である旅客機の鼓動を伝える迫力の作品でお楽しみください。

□30×38cm/28頁/価格1,760円
ISBN9784802216050

『ねこと鉄道』

時刻表の合間のネコ時間

駅や線路際などに、ふらりと現れるネコ。人間と付かず離れず生きてきたネコは、自分時間で鉄道のまわりに姿を見せます。そんなネコを追いかけている米山真人カメラマンが、全国で撮り続けてきたネコたちの姿をカレンダーにしました。旅先でネコに会った気分が1年を過ごせる、ネコ好きにオススメのカレンダーです。

□27×35.3cm/28頁/価格1,760円/ISBN9784802216081



『四季の野鳥』

野鳥と過ごすリラックスした1年

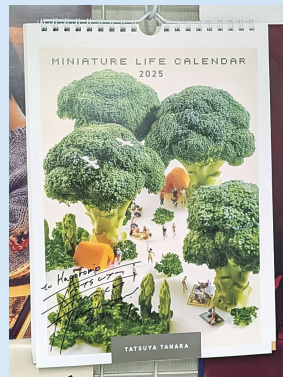
雄大な自然の中で息づく野鳥たちの一瞬の輝きを捉えた「四季の野鳥 カレンダー」。野鳥写真家・中野耕志が、その卓越した感性と技術で切り取った13点の作品です。ページをめくるたびに、野鳥の羽ばたきやさえずりまで伝わるような臨場感があり、日本の四季の美しさとそこに生きる野鳥たちの豊かな表情を味わえます。

□27×35.3cm/28頁/価格1,760円/ISBN9784802216074



「カレンダーを出す」という特別感を取り戻したい ハゴロモに聞くカレンダー市場の最新動向

年末の書店店頭を華やかに彩るカレンダー。長年にわたり多彩なラインナップを提供してきたのが、カレンダーメーカー大手のハゴロモだ。タレント、アニメ、動物、風景、アスリート——時代の空気を切り取りながら、人々の暮らしに彩りを添える季節商品の魅力とは。最近のカレンダー市場の動向などについて、ハゴロモ出版企画部・桐山智行氏に話を聞いた。



毎年大好評の「MINIATURE LIFE CALENDAR」(ミニチュア写真家・見立て作家 田中達也氏)

——カレンダーは40年以上作られているんですね。

1980年代から90年代にかけて、アイドルや芸能人のカレンダーを多数手がけてきました。昔も今もカレンダーはもらうものというのが主流ではありますが、好きなカレンダーを買うという提案を始めたのも当社だったと聞いています。

今もタレント、アニメ・キャラクター、動物、風景、アスリートなど、各ジャンルで時代を象徴するコンテンツをカレンダー化しており、特に年末シーズンに店頭を彩る季節販売商品として好評です。また、書店などの店頭を使った発売記念イベントの企画・開催を通じて、販売促進しています。さらに、企業の配布・販促用、ファンクラブ向けカレンダーなどの提案、制作・製造もしています。

書店向けには毎年、同業他社と共同で全国の書店に貼るポスターを作って、予約を受け付けています。

——カレンダー市場の動向はいかがですか。

書籍など出版業界が厳しいのと同様、カレンダーの市場も縮小しています。昔は10万部でヒットでしたが、

現在は1万部がその水準になっています。一方、サイズの違いなどにはありますが、タイトル数はおそらく3倍ほど増えています。価格もタレントものとすると1980年代は1800円くらいでしたが、今は3000円台が主流です。ただ、カレンダーはコアなファンが年に1回必ず買ってくれたりしますので、値上げによる大きな影響はそれほど感じません。

客単価を上げる戦略にシフト

——御社での取り組みを教えてください。

当社は毎年100タイトル前後のカレンダーを出版しています。その6割ほどが女性・男性タレントです。今は昔ほど突出した人気コンテンツが少なく、趣味やファンも細分化されていますので、それだけ多くのタイトルが出てきています。

ですから、当社では部数ではなく、客単価を上げる戦略にシフトしています。例えば、声優や2・5次元俳優などのコアなファン向けカレンダーを増やし、発売記念イベントや握手会を開催したり、VIP向けに限定施策を販売していたりします。

——最近、人気のジャンルは。

動物カレンダーは犬や猫が中心ですが、依然として人気がありますね。例えば、当社の『開運!! にゃんたまωカレンダー』のように、より`とがった、企画のカレンダーも増えています。出版社さんが雑誌などで

掲載している面白い企画を、当社がカレンダー化するケースもあります。

——サイズも変わってきていますか。

カレンダーにはデジタルでは味わえない紙の価値が残っています。男性向けは大型サイズ、女性向けやキャラクターものは小型サイズや卓上サイズが現在の主流です。また、コロナ禍でテレワークが増えて、卓上カレンダーの需要が一気に高まりました。

——カレンダー販売における今後の展望は。

当社は特に、「広く浅く」売ることから、「狭く深く」売ることへと移行しています。コアなファンにより喜んでいただける商品や体験を創造し、提供する会社になりたいと考えています。

一方、業界の展望としては、かつてのように「カレンダーを出すことがステータス」という価値を取り戻したいと思っています。タレントというと、昔は一握りの人気アイドルしかカレンダーを出せなかったですし、カレンダーを発売すること自体が「お祭り」のような存在でした。カレンダーを出すという特別感を取り戻したい気持ちもあります。

例えば、日本最大級の野外音楽フェスティバル「フジロックフェスティバル」の出演者ラインナップが、例年渋谷駅前の大型ビジョンで発表され、それを見に多くのファンが集まります。あのようなワクワク感を作り出せないか、昔あった年末の風物詩的な雰囲気を取り戻したいです。

——ありがとうございました。



ハゴロモが発行している主なカレンダーのラインナップ



GIFT
BOOK
CAMPAIGN

プレゼント企画 「本を買って当てよう!」開催中

文化通信社は、書店で税込1,000円以上購入し、専用サイトからレシートを添付して応募すると、素敵なプレゼントが当たるキャンペーンを実施しています。全国のどの書店でのレシートでもOKです。書籍、雑誌、コミック、文房具など、書店で販売されるすべての商材が対象です(一部対象外あり)。

前回(2024年末)実施のプレゼント企画には、全国から約52,000件超の応募が寄せられ大好評でした。ぜひポスターを書店店頭に掲示し、お客様の購入促進にお役立てください!

※ポスターは前号(5月27日付)に折り込んでいます。ご入り用の書店は下記までお問い合わせください。

企画概要

キャンペーン名称:「本を買って当てよう!」
実施期間:~2025年9月15日/協賛企業数:24社/当選総本数:1215本
当選確定・発送:2025年11月中旬(当選は発送をもってかえます)

お問い合わせ先

株式会社文化通信社「本を買って当てよう!」事務局
メール: info@giftbooks.jp 電話:03-5217-7730(代)



詳細など
特設サイトも
OPEN



本を買って当てよう!

全国の書店で1,000円以上お買い上げの方に
素敵なプレゼントが当たるチャンス。
1,000円以上のレシートで1回、期間中何回でも応募できます。
応募期間 ~9月15日まで

PR 書店の情報収集をより効率的に 活用広がる出版情報プラットフォーム「BookLink PRO」



文化通信社が提供する出版情報プラットフォーム「BookLink PRO(ブックリンクプロ)」は、新刊情報や重版情報、パブリシティ、注文書、販促資料など、出版社が書店に伝えたい最新情報をオンライン配信できる仕組みです。書店の方は無料で利用できます。

現在、出版社や書店での「BookLink PRO」の活用が広がっています。その一例として、出版社・日経BP様、書店・有隣堂様の話題を以下でご紹介します。最新の情報や必要な情報を効率よく収集でき、コスト削減と作業負担の軽減にもつながる「BookLink PRO」をぜひご活用ください。

書店登録をご希望の方は、右記のQRコードからご登録ください。

書店アカウント新規登録▶



日経BP

朝井リョウの新刊受注開始 プルーフ版募集に書店から大きな反響

日経BPは9月5日に、日本経済新聞出版レーベルで朝井リョウ著のエンターテインメント小説『イン・ザ・メガチャーチ』を発売するが、7月25日から書店の初回配本指定募集を開始した。先行して書店に向けて配布しているバウンドプルーフ版(見本版)の募集には多くの反応があり、書店側の期待も高まっているようだ。

指定配本の申し込み締め切りは8月18日。パネル、POP、書影の申し込みも8月30日までWebで受け付けている。指定注文の注文書や拡材の申し込みは「BooklinkPRO」に掲載している。

同作は日本経済新聞夕刊に、2023年4月1日～24年6月20日の期間で359話にわたって連載された。「推し活」を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んで

いた側と、世代の異なる各視点から描く現代小説。書籍は四六判上製、定価2200円。ISBN9784296121045。

6月初めから書店に販促チラシや「BooklinkPRO」を利用してバウンドプルーフ版の案内を開始したところ、多くの希望が寄せられ、同社としては異例の累計1500部を作製した。7月24日からは

著者がSNSでの発信も開始した。(*The Bunka News*「デジタル版7月31日付配信」)



指定注文の注文書や拡材の申し込みを掲載しているページはこちら



有隣堂

出版社にFAX送付停止を要請 業界DXは避けられない課題 業界インフラに期待

神奈川県を中心に書店約40店舗を展開する有隣堂は店頭での生産性を高めるため、出版社に対してFAXの送付を停止するよう要請した。同社でこの取り組みを担当する商品企画部・芝健太郎部長は、書店員が選書や情報収集など本来やるべき仕事に時間を割けるよう、DXに取り組む必要があると強調する。

芝部長に話を聞いた。

書店が自ら情報取りに行く

——出版社にFAX送付停止を要請した理由を教えてください。

DXを進めて業務全体を効率化しなければならないという流れの一つとして、FAX廃止がありました。もちろん、FAX

をなくすこと自体が目的ではありません。

個人的にも、世の中でAIと言っているのに、いまだにFAXを使い続けているということに違和感があります。もちろん、現場のインフラが整っていないという課題があることは理解していますが、メールやペーパーレスに移行するのは当然の流れです。さらに、書店にとってFAXをなくすということは、「情報を受け身で受け取って満足している状態」から脱却し、自分たちで情報を取りにいく、そして新しいチャレンジに時間を使っていく—という意識にシフトするためでもあります。(続く)

インタビュー記事は「The Bunka News」デジタル版で読めます。



著名人、著者、作家、編集者、書店員…
本好き、読書好きと
つながる、交流できる

ほんのもり

本で心に豊かな森をつくろう

8月10日(日)から配信中!

オリックス シニア・チェアマン
宮内義彦氏

「戦後80年、
いま若者たちに読んでほしい本」

トークセッション
「ほんのひととき」第2回

「幅允孝の
本を片手にあちこちへ」
(日程調整中)

本好きな仲間同士の会話や交流が、
新たな一冊との出会いにつながる

オンラインコミュニティ
「ほんのもり」

株式会社 文化通信社



第1期会員募集中
月会費
3,300円(税込)
詳細は上のQRコード
からご参照ください。